

令和4年度 和歌山県更生保護功労者顕彰式



サポセン和歌山

令和4年12月15日発行

更生保護サポーターセンター和歌山
〒640-8157 和歌山市八幡丁4 八幡丁館3階

第52号

発行責任者：和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
TEL：073-460-9298
FAX：073-425-1301
Email：saposen_w@ares.eonet.ne.jp
H.P：http://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/

顕彰式典開催

令和4年度和歌山県更生保護功労者顕彰式典が和歌山城ホール（小ホール）にて開催されました。受賞されました皆様、おめでとございます。コロナ禍がまだまだ予断を許さない中で、全受賞者のご出席がかないままでしたが、静粛な中にも厳かな式典が開催されました。

日頃の熱心な活動の賜物が、今日の住みよい明るい社会の実現に寄与されていることは申し上げます。これからの益々の活躍を期待申し上げます。

式辞

(抜粋)

犯罪の検挙件数は年々減少傾向にあるものの、再犯者の占める割合は近年増加する中、再犯の防止等の推進に関する法律に基づき、平成29年12月に再犯防止推進計画が策定されました。

特に対象者が再犯をしないため私ども更生保護関係者は「対象者が仕事に就いて生活が成り立つよう」と考え行動しております。

従来、更生保護の対象者に対する指導・助言・監督は一人の保護司がその秘匿性を重視し実施していましたが、指導・助言・監督し再び罪を犯させない再犯防止を行っていくために、必要に応じて複数担当制を実施し実効ある保護観察制度の確立を目指しています。

そのためにも保護司定員を充足させていくことも大きな課題となっております。

また、例年であれば顕彰に先立ち社会を明るくする運動作文コンテストの最優秀賞受賞児童生徒による作品の朗読をしていただいておりますが、今回も新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、この朗読を取り止め顕彰式のパンフレットの掲載といたしました。

掲載された作品を読みますと、それぞれの立場で犯罪のない明るい社会について、しっかりと考えておられ、人間愛に充ちた明るい社会を希求する感銘深いものがあります。こうした若い世代への啓発は立ち直りを目指す人々を理解し支援する社会を作るため重視しており、大変心強く感じました。

さて、本顕彰式におきまして、顕彰をお受けになる先生方、まことにめでとございます。功労者の皆様方のご功績、そのご苦勞を支えられるご家族のお力添えに心からの敬意を表しますとともに、私ども更生保護関係者は社会の要請にこたえるべく、またその責任の大きさを深く認識し、地域の人と手をたずさえ犯罪や非行のない明るい社会の建設と更生保護の諸活動に邁進することをお誓いし、私の式辞といたします。

令和4年10月25日

和歌山県保護司会連合会

会長代理 得津 壽美代

栄えある受賞者の皆様おめでとうございます

藍綬褒章

林 吉男（和歌山西）

法務大臣表彰

玉井 良弘（和歌山東） 上野 吉章（和歌山西） 大竹 有美（和歌山西）
浦口 高典（和歌山南）

全国保護司連盟理事長表彰

瀬藤 祝夫（和歌山東） 野々村 邦夫（和歌山東） 吉本 昌純（和歌山東）
佐藤 孝博（和歌山西）

全国保護司連盟理事長表彰 -家族功労者-

畑口 仁美（和歌山南）

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

岩坪 華容子（和歌山東） 竹田 茂樹（和歌山東） 沼井 健次（和歌山東）
山崎 秀樹（和歌山東） 南出 博之（和歌山西） 尾崎 方哉（和歌山南）
川端 久晴（和歌山南） 渋谷 静加（和歌山南） 集田 眞樹（和歌山南）
辻本 朝治（和歌山南） 福嶋 友美子（和歌山南） 宮本 庄悟（和歌山南）
木綿 良介（和歌山北）

近畿地方保護司連盟会長表彰

楠 太樹（和歌山東） 柑本 敏和（和歌山東） 雑賀 万希子（和歌山東）
高倉 理行（和歌山東） 山本 隆士（和歌山西） 川西 万貴子（和歌山南）
山下 二美（和歌山南） 栗本 博善（和歌山北） 下岡 一夫（和歌山北）
前原 壯行（和歌山北）

近畿地方保護司連盟会長表彰 -家族功労者-

北川 とみ子（和歌山東）

和歌山県知事感謝状

江川 友章（和歌山東） 松尾 幸一（和歌山西） 杉谷 睦生（和歌山南）
宇治田 明史（和歌山北） 土橋 廣藏（和歌山北）

和歌山保護観察所長表彰

鎌田 裕司（和歌山東） 岩崎 好生（和歌山西） 貝尻 二美（和歌山西）
関根 久夫（和歌山南） 河島 美幸（和歌山北） 牟田口 順子（和歌山北）
山本 篤（和歌山北）

和歌山県保護司会連合会会長表彰

川寄 晃史（和歌山東） 木村 恵子（和歌山東） 田中 茂治（和歌山東）
中川 宗樹（和歌山東） 三浦 誠夫（和歌山東） 山田 和美（和歌山東）
岡垣内 千代（和歌山西） 川崎 博義（和歌山西） 中井 通雄（和歌山西）
中島 俊之（和歌山西） 松岡 智央（和歌山南） 山本 浩幸（和歌山南）
七田 均（和歌山北） 園内 浩樹（和歌山北）

（敬称略）ご芳名は当用漢字にて表記しています

受賞者の喜びの声

『藍綬褒章を受章して』

それは青天の霹靂でした。受章の内示を二月頃に電話で頂き、嬉しいと言うより、戸惑い、驚きがありました。

六月の西支部の定例研修時に伝達式をして頂き、和歌山保護観察所長から授与されました。

今後も保護司としての仕事も勿論ですが、人としての精進を忘れずに周りの方達に感謝をしながら歩んで行きたいと思えます。

西支部 林 吉男



社明作文第1次審査



原稿に名前等を張る作業



名前等パソコン入力



8月 学校へ作文の受け取り



7月 作文依頼で学校訪問



作文仕分け作業



9月 第1次審査

どの作品も甲乙つけがたく
審査員も苦慮



長時間お疲れさまでした！

結果発表



第12回社会を明るくする運動作文コンテスト一次審査会が9月12日あいあいセンター会議室に於いて開催されました。

応募数は小学校441作品、中学校1110作品の合計1551作品で昨年比121%の応募を頂きました。厳正な審査の結果県の二次審査に小学校26作品、中学校60作品が送られました。

係員・審査員には保護司会21名、更生保護女性会2名、BBS会1名総勢24名が当たり限られた時間内に多くの作品をしっかりと読ませて頂くという、大変な作業となりました。この様に沢山の作品応募があったのは、保護司の皆様方が熱心に学校訪問や、啓発に取り組んで下さった成果だと思えます。そして、各学校の先生方のご指導の下、素晴らしい作文を書いてくださった小中学生の皆様有難うございました。

4者合同研修会



各支部研修部の皆様お疲れさまでした

2022年10月6日和歌山中央コミュニティセンターにおいて3年ぶりに合同研修会が開催されました。今年度より従来からの和歌山保護司会・和歌山市更生保護女性会・和歌山協力雇用主会の3者に加えて和歌山市BBS会も参加しての4者合同研修会となりました。

131名の出席者が、熱心に聴講しました。

和歌山保護観察所の奥田幸生所長を講師に迎えて、カラー刷りのわかりやすい資料をもとに「保護司とは」をテーマに2時間の講演をしていただきました。



北支部県外研修



児童自立支援施設「修徳学院」



震災メモリアルパーク（神戸港）

北支部県外研修に参加して

コロナの影響で延期していた県外研修を10月28日・29日に実施しました。

絶好の行楽日となり皆様方の日頃のご精進のおかげだと感謝致しました。

研修先は児童自立支援施設修徳学院です。過去の研修先は刑務所、少年院、更生保護施設だったので新鮮で、初めて知ることが多く学ぶことが出来ました。先生方の日頃のご苦労や愛情深さを感じるとともに家庭的で入所者にとって居心地がよいだろうと推察いたしました。

その後、与謝野晶子、千利休ゆかりの地で歴史を学びました。

その後は名湯有馬温泉へ向かい夕食は各自コロナ対策を取りながら楽しい時を過ごしました。2日目は、神戸港クルージング、震災メモリアルパーク、北野工房のまちを訪れました。

和気あいあいと楽しく学びながらリフレッシュして親睦を深め北支部保護司としてまとまり有意義な県外研修となりました。

北支部研修部長 佐谷 美津子



ふれあい人権フェスタ映画会



更生保護団体による「ふれあい人権フェスタ映画会」が11月19日にビッグホール軽運動場で開催されました。各支部保護司や、更生保護女性会によるチラシ配布の呼び込みで150名以上の観覧者で大盛況となりました。上映されたのは「秋桜の咲く日」。発達障害のある人の生きづらさや痛みをテーマにしたものでした。

第2回地域別定例研修

テーマ：保護司の複数担当制

複数指名の目的と積極的な活用方法、また必要性について学びました。

和歌山保護司会でもすでに複数担当制での面接を行っている保護司の方々もおり、経験談などを聞かせてもらいました。一人では対応の難しい対象者については、複数で相談しながら面接を進めていくことができ安心感があるとの意見や、対象者との時間調整の難しさなどいろいろな意見が出るなど有意義な研修となりました。



東



東支部研修及び懇親会

11月25日（金）に「はやし」にて研修と懇親会を開催しました。複数での保護観察を担当された方の発表や課題など、活発な発言があり充実した研修会となりました。研修後は食事を楽しみながらの貴重な時間を過ごしました。

西



研修前に観察所長より顕彰式に出席できなかった方々への伝達式を行いました



西支部研修及び懇親会

検察庁の事務官が見学に来られている中、鐸木保護観察官が東京研修のため、山崎統括保護観察官に講師をして頂きました。テーマである複数担当をすでに経験している保護司の意見を聞く機会にもなり大変勉強になりました。

研修終了後3年振りの忘年会では、恒例のじゃんけんゲームでのプレゼント交換をするなど楽しい一時を過ごしました。

南



南支部懇親会

11月24日（木）に紀三井寺はやしにて研修。終了後、久しぶりの懇親会を紀三井寺はやしにて開催しました。コロナ禍に保護司に委嘱され初めて参加された方々もおられました。研修でしか顔を合わせることがなく、互いの交流が難しく、意思の疎通がなかなかできない3年間でしたが、懇親会は和やかで楽しい会となりました。

北



北支部研修

11月16日河北コミセンにて第2期地域別定例研修を開催。

研修会に先立ち令和4年度更生保護功労者への賞状の授与式が執り行われました。授与式後『保護司の複数担当制』について小田千穂保護観察官より1時間余りの講義があり、保護司複数担当の経験者からの苦労話や先輩保護司の指導があり、安心して処遇できた事などの経験談が発表され有意義な研修となった。

研修終了後、北支部協議会が開催され、今後の行事予定などについて話し合われた。



第3期地域別定例研修

東支部	令和5年1月23日(月)
西支部	令和5年1月24日(火)
南支部	令和5年1月30日(月)
北支部	令和5年2月6日(月)

- ・詳細は各支部の案内等でご確認ください
- ・所属支部の研修日に都合がつかず出席できない方は、事前に支部長に申し出て他支部の地域別研修に参加をお願いします

サポートセンター和歌山移転について

- ・サポートセンターの移転については市役所から移転先及び移転時期については、現在検討中とお話を伺っております



サポートセンター和歌山
俳句教室作品

青眉の松園美女や月の光	森 幸子
秋雨や淋しさは友遊きてより	乾 三千代
正倉院展長蛇の列に康寄り来	大竹 育美
新米や居並ぶコイン精米所	乙井 八重子
稲架掛や家族揃ひてにぎり飯	小西 健之
ひとり行く黙す山径おけら鳴く	坂本 漸
揚羽蝶己が重みを羽に課し	杉谷 睦夫
朝帰りの猫の毛を梳く厄日かな	得津 壽美代
パズル解くはつと一息虫の声	中村 咲子

選者 「森 幸子」



新任・OB・OGの皆さん
日時：毎月第3水曜日 10時～
対象：更生保護関係者

《保護観察経過報告書について》

「保護観察経過報告書」の書式が変更されています(短期保護観察は従来通り)
令和3年度版作成用 エクセル・ワード・一太郎のCDを、サポートセンターで用意しています。必要な方は申し出てください。必要な方はお問い合わせ下さい。

4支部合同研修

- ・令和5年2月16日(木) 13時半
- ・場所：河北コミュニティセンター
- ・詳細は送付するハガキでご確認ください

サポートセンター和歌山
年末年始の開所予定

- ・年内開所
令和4年12月27日(火) 12時まで
- ・年始開所
令和5年1月5日(木) 10時から

編集後記

S・S編集長からメールで編集後記は

まだですか？ええ～？何のことかしばらく考えると、
あア～あれか？そういえば11月の運営委員会で「Y・T」さんに編集後記を頼もうかな？と言われた記憶は確かにあるが、冗談だと思って気にもせず、後記は広報担当者の誰かが書くものだと思っていたが、冒頭のメールで慌てて過去の編集後記を見てみると、46号の編集後記に、「これまでは数名の広報部委員が中心となり作成刊行してきたが、新年度からは企画調整委員全員で力を合わせ…」との記事を見つけ、うう～納得！書かせていただきます…。

Y. T